

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回5月の「てがたん」は5月9日(土)で、「鳥のさえずりと子育て」がテーマです。ご都合のつく方はぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは5月2日(土)です。よろしくお願いいたします。

現在、第53回企画展「てがたん展2～かかわり合っくらす身近な生き物～」を開催中です。ぜひご来館ください!

## 4月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→道路沿いの田んぼ→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2009年4月11日(土)/晴れ
- 参加者 39名(一般33名 子ども6名)
- スタッフ 11名(石原直子、伊東茂子、岡廣志、木村稔、小泉伸夫、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、水上香苗、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(斉藤安行、村松和行)

## 観察記録 -4月に観察した生き物リスト-

### 【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ、アオサギ/カモ科：カルガモ、コガモ/タカ科：サシバ/キジ科：キジ/クイナ科：オオバン/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：コゲラ/セキレイ科：ハクセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ツグミ科：ツグミ/ウグイス科：ウグイス/シジュウカラ科：シジュウカラ/メジロ科：メジロ/ホオジロ科：アオジ、オオジュリン/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：コブハクチョウ、ガチョウ、ドバト

【両生類・魚類・甲殻類】 ウシガエル、アマガエル

【昆虫・クモ】 [チョウ・ガの仲間] ベニシジミ、ヤマトシジミ、モンシロチョウ、スジグロチョウ、ナミアゲハ、ミノウスバ(幼虫) [ハチの仲間] コアシナガバチ、クマバチ [クモの仲間] ゴミグモ、ハナグモ、オニグモ、クサグモ [サシガメの仲間] ヨコヅナサシガメ [テントウムシの仲間] ナミテントウ、ナナホシテントウ、ヒメアカボシテントウ [ハムシの仲間] コガタルリハムシ [バッタの仲間] ヒシバッタ

【花】 キク科：ノボロギク、アレチノギク、ハハコグサ、オオジシバリ、セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、ヒメジョオン、ハルジオン、ノゲシ、オニノゲシ、オニタビラコ/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、カキドオシ/ナデシコ科：コハコベ、ミドリハコベ、ノミノフスマ、ノミノツツリ、オランダミミナグサ、ノゴマノハグサ科：タチイヌノフグリ、オオイヌノフグリ、トキワハゼ、ムラサキサギゴケ、ツタバウンラン/アブラナ科：タネツケバナ、ミチタネツケバナ、キレハイヌガラシ/オランダガラシ、ナズナ/キンポウゲ科：タガラシ/マメ科：カラスノエンドウ、ゲンゲ/セリ科：セリ/イネ科：スズメノテッポウ、スズメノカタビラ/スミレ科：スミレ、アリアケスミレ、ニョイスミレ/カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ、オッタチカタバミ/ケシ科：ナガミヒナゲシ、ムラサキケマン/フウロソウ科：アメリカフウロ/アヤメ科：シャガ/ムラサキ科：キュウリグサ/ツバキ科：ヤブツバキ/バラ科：ヘビイチゴ/ヤナギ科：アカメヤナギ(雄花)、シダレヤナギ(雌花)/ユリ科：ハナニラ/木本(花)：サンシュユ、タムシバ、モクレン/キョウチクトウ科：ツルニチニチソウ

# 4月の観察アルバム



今回のでがたんのテーマは「外来生物と春の花」でした。身近な自然にとけ込んでいる帰化植物を探してみたところ、花が咲いているものでは観察した植物47種のうち、20種が帰化植物でした（全体の42.6%）。レポートではその他に、いくつか追加した植物もあるので確認してください。



今回の案内人  
弘貴さと子さん & 湯瀬一栄さん



1 ツタバウンラン  
観賞用として大正時代に渡来したと言われている（地中海地方原産）



2 タチイヌノフグリ  
ヨーロッパ原産。オオイヌノフグリは西アジア・中東原産



3 ハナニラ  
花びらの裏がきれいでした（アルゼンチン原産）



4 ナガミヒナゲシ  
帰化種の代表！？（地中海地方原産）



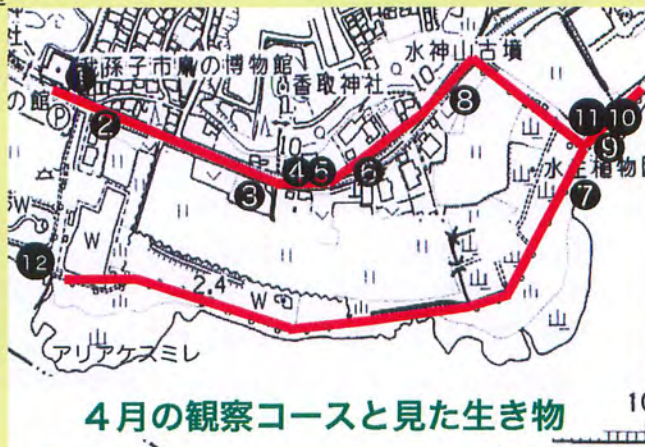
5 スズメノテッポウ  
これは在来種ですが、水田に生息するイネ科植物は稲作と一緒に渡来した帰化植物が多い



幼虫を触ってみました！フワフワ？



ミノウスバ



4月の観察コースと見た生き物



7 ニヨイスミレ  
遊歩道の湿った場所で見つけたニヨイスミレの花と葉



12 カントウタンポポ  
在来種のカントウタンポポの萼には反りが無い



11 オオフサモ  
特定外来種に指定されている（ブラジル原産）



10 ツグミやコガモのような冬鳥も5月の連休頃にはは渡って行くでしょう



9 ナナホシテントウ  
ナナホシの幼虫の頭部にある黄色い斑はナミテントウの幼虫にはない



8 アリアケスミレ  
花色の変異が多い。その変化に富む色を「有明の空」に例えたことが名の由来

## 冬芽の一週間後の様子



2月14日 ←撮影



4月4日 ←撮影

4月4日撮影→



オノエヤナギ



4月11日撮影→



ミスキ

## トキワハゼとムラサキサギゴケの比較



トキワハゼ

ムラサキサギゴケ

トキワハゼの方が根元に出る葉が大きく、匍匐（ほふく）する茎を伸ばさない。ムラサキサギゴケは根元の葉は小さく匍匐する茎を出す。花はムラサキサギゴケの方が大きい。